

WIRED

【報道関係者各位】

2017年6月1日
コンデナスト・ジャパン

雑誌『WIRED』最新号 VOL.28 (6/8 発売) 特集「ものづくりの未来 Making Things」

その他：フェイクニュースの地 マケドニア、CREATIVE HACK AWARD ...and more!

http://wired.jp/magazine/vol_28/



大量生産、大量消費の時代が終わりを迎えるなか、ヒトはいかにものと向き合い、それをつくり、使っていくのか。

世界をリードするイノベーションメディア『WIRED』日本版は、6月8日（木）に、雑誌『WIRED』VOL.28を発売します。特集は「ものづくりの未来 Making Things」。大量生産、大量消費の時代が終わりを迎えるなか、ヒトはいかにものと向き合い、それをつくり、使っていくのか。そこからヒトは、何を得て、何を学ぶのか。サンフランシスコで、パリで、ロンドンで、スウェーデンで、京都で、ものづくりの未来を考えた。[\(http://wired.jp/magazine/vol_28/\)](http://wired.jp/magazine/vol_28/)

さらに、米国大統領選で100以上もフェイクニュースサイトを発信した東欧のマケドニア。なぜ米国から遠く離れた街でフェイクニュースが発信されたのかを探る。また、100年間フェイクニュースと戦った文筆家のカール・クラウス。その素顔を探るべくカール・クラウス研究第一人者の池内紀に訊いた。2016年の「CREATIVE HACK AWARD」のグランプリと準グランプリ受賞者による海外視察ツアーレポートも掲載。

WIRED

特集「Making Things ものづくりの未来」

◇イヴ・ベアールの感覚変容論 21世紀をデザインするものづくり
オフィスチェアやテレビなどの身近なものから、途上国の子ども
のためのPCや眼鏡、高齢者のためのロボットまで。そのデザインの秘
密を探るべく、ライター佐久間裕美子が、ベアールのサンフランシ
スコのオフィスを訪ねた。

◇フレンチテック・モンアムール 欧州発、「ポストメイカーズ」
の逆襲

パリのハードウェア専門VC、巨大スタートアップキャンパス、イン
キュベーター、メイカースペースと、リヨンのIoT フェスを訪ねて
わかった、フレンチテックがエスプリたっぷりな理由。

◇衣装の解剖学 アイトア・スループ、自己探求としての「ものづくり」

越境的デザイナー、アイトア・スループ。ものづくりとは自己探求だと語るスループのアトリエを訪れた。



上：イヴ・ベアールのオフィス



上：アイトア・スループ

◇M.M.L.B. RISAKO のメイク・メイク・ルック・バッド

中村理彩子、22歳。デジタルファブリケーター、メイカー、と
ときどきモデル。物欲、旺盛。ただし、つくれないものしか買いた
くない。リアルクローズなら、自分でつくっちゃいますけど。な
にか？

◇クラフツマンの帰還 リチャード・セネット：つくることは考
えること、生きること

ハンナ・アレントの教え子として「労働」「仕事」「技術」につ
いて鋭い思考を展開してきた『クラフツマン』著者、リチャード・
セネット。ヒトにとって「つくる」とは何を意味するものなのか？
その根源的な答えを聞くべく、ロンドンの自邸を訪ねた。

◇匠とテクノロジー 京都式「長く続く」ためのイノベーション

◇捨てない経済 北欧発「リペア・エコノミクス」への挑戦

◇ものの響き 坂本龍一と考える「人・もの・音」



左：CREATIVE HACK AWARD



上：北欧発「リペア・エコノミクス」

CREATIVE HACK AWARD | 2016年受賞者・海外視察ツアーレポート

『WIRED』が毎年主催している「CREATIVE HACK AWARD」。2016年のグランプリと準
グランプリ受賞者が副賞として訪れたのはカナダのモントリオール。小さな街に集積する
数々のスタジオから厳選された8カ所を巡る旅は、デジタルアート集団Moment Factoryから
始まった。

WIRED

第2特集「フェイクニュース」

◇マケドニア番外地 世界を動かす「嘘」の町

東欧・バルカン半島に位置するマケドニア共和国。米国大統領選において 100 以上ものトランプ支持サイトが発信されていた。その多くは“嘘”ばかりのフェイクニュースサイト。なぜマケドニアは世界のフェイク工場となったのか。思想なき場所で生まれるカネは、ついに世界を動かしてしまった。

◇100 年前、フェイクニュースと闘った文筆家 | カール・クラウス

爛熟と頹廢のときを経て、やがて戦争とファシズムに飲み込まれていく 19 世紀末ウィーン。において、アフォリズムを武器に、ひとりフェイクニュースと闘い続けた男がいた。批評家で詩人で劇作家で編集者で諷刺家、加えて論争家でもあったその人物の名は、カール・クラウス。

+++

発売記念ミニカンファレンス：WIRED on WIRED DX

『WIRED』日本版最新号「ものづくりの未来 Making Things」の発売を記念して、ミニカンファレンス「WIRED on WIRED DX」（6月10日 15:00-18:00）を開催いたします。イベントに関する詳細はこちらまで

→<http://wired.jp/event/wired-on-wired-dx-vol28/>

※有料。参加ご希望の方はお早めにチケットをお求めください。

+++

『WIRED』日本版公式SNSアカウント

 Twitter : https://twitter.com/wired_jp

 Facebook : <https://www.facebook.com/WIRED.jp>

 LINE : ID 「WIRED JAPAN」で検索

 Google+ : <https://plus.google.com/+WIREDjp>

APPLE MUSIC 公式キュレーター : 「WIRED JAPAN」で検索

■WIRED（ワイアード）

1993年に米国で創刊し、現在5カ国で展開する、世界で最も影響力のあるテクノロジーメディア『WIRED』の日本版として、2011年6月にウェブサイトと雑誌を同時スタート。テクノロジーの進化を通して、カルチャーから、サイエンス、ビジネス、医療、エンターテインメントまで、社会のあらゆる事象を、読み応えのあるテキスト、美しいデザインとビジュアルでレポート。テクノロジーが時代をどう変え、時代がテクノロジーに何を望むかを考えることで、来るべき世界の未来像を探る総合メディア。

■本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

WIRED マーケティング部 : 菊井、西川 TEL : 03-5485-9340 FAX : 03-5766-3010

インターネットへの掲載の場合、次のURLを掲載のうえ、リンクしてください。 <http://wired.jp>

[CNJ_WRPR201707]